



Intellectual Capital Management
for
Sustainable Growth





Willpower

多様な意志が繋がりあう、 新しい生態系

いい木は、いい根っこから。いい根っこは、いい土壌から。
ICMGグループは、「森（Forest）」の発想を持ち、
Willpowerを持つリーダーが集い、繋がりあう
豊かな土壌（Foundation）を共に創り、
未来共創を加速する、未来共創カンパニーです。

の森



目次

CEOメッセージ	2
新知的資本経営	4
Willpowerの森 生態系	6
価値提供領域	8
私たちの実践智	10
価値創造の歩み	14
会社情報	16

ICMGグループの高尾山でのリーダーシップ
トレーニング。自らが何を成したいのか、自らの
強さは何か、その歩みを進める。

2020年2月。私たちICMGは創立20周年を迎え、20期連続黒字経営を達成し、満を持してFuture Center Tokyoを東京・丸の内にオープンしました。改めて、経営陣・社員一同、ステークホルダーの皆さまのご支援・ご高誼の賜物と深く感謝申し上げます。

同時期に発生した、COVID-19のパンデミックは、多くのプロジェクトを中断させる経営の根幹をも揺るがす未曾有の社会的危機へと発展しました。

これまでは当たり前と思っていた私たちのコアサービスである、知的資本の経営ノウハウ提供・支援、リーダー育成をゼロリセットして立ち止まり、これからの社会にとって本質的な価値とは何かをお客さま・社員・パートナーと真剣に取り組む旅を再スタートしました。

私たちは創業以来、**企業を一本の木として捉え**、生態系の根幹を成す、木の根である知的資本(バランスシートに記載されない見えざる価値)を可視化し、目指す将来像(企業ビジョン)を描き出し、**人的資本からの価値創造の構築**を支援してきました。

しかしながら、私たちの想像を遥かに超えたCOVID-19の脅威により、地球規模で私たち一人ひとりが今一度、あるべき社会の生態系の在り方を問い直すことが求められ、リーダーたちは未来に向かって、何を目的(社会パーパス)として、いかに実現させるか、どこに道標を置くかを見つめ直す必要がありました。

私たちは、侃侃諤諤の対話から、本質的な存在意義・成すべきパーパスの中核として「Willpowerの森を創る」を据え、「社会にとって価値あるものを創り出す」ことを我が社のコアバリュー(大切な価値観)に設定しました。

私たちは、これまでも、そしてこれからも徹底的に人的資本からの価値創造にこだわり、木としての企業だけでなく、森としてのコミュニティ、そして社会の持続的な生態系を構築していきます。

個の強い意志力(Willpower)でより価値ある事業を創り、これまでのコンサルティングサービスを越えた事業創造会社になることを宣言します。



株式会社ICMG
代表取締役社長 兼 グループCEO
船橋 仁

船橋 仁

モンゴルの大自然の中で、自分自身を見つめ切り拓く未来を探求する。

存在意義

Purpose

世界中の意志ある
仲間と未来を共創する

従来型の資本主義にとらわれず、
未来基点の知的資本型社会を実現するために、
世界中の意志ある人材を突き動かし
Willpowerの森を形成し、豊かで無限の可能性を
ブレイクスルーする未来共創エディター・リーダーとなる

目指す将来像

Vision

未来・社会にとって必要と
される潜在意義を紡ぎ出し、
確かな価値を顧客に届ける

自ら未来・社会にとって必要とされる
潜在意義やイニシアチブ、価値をデザインし、
多様なステークホルダーとの共創により、
確かな価値として顧客やステークホルダーに届ける、
我々なりの生態系の繁栄を実現する



4

新知的資本経営

01

人的資本からの価値創造

「人的資本」を起点と捉え、
価値創造を構想・実践する

私たちは創業以来、「全ての価値は人から生み出される」を経営の根幹に据えて事業を行っています。人材は損益計算書上ではコストとして計上されます。しかし、人材こそが価値を生み出す最大の資本であり、バランスシートに表れない「人的資本」を価値創造の起点と捉え、人材力を戦略的に高めていくこそが企業の持続成長にとって最も重要であると考え、実践を通じて社会に浸透させてきました。

私たちは企業活動を木の生態系になぞらえ、木の根っこにあたる人材や組織の持つ強みをビジネスモデルに昇華させ、実践することで「果実=価値」を生み出し、持続成長を実現することをなりのわいとしてきました。これが、木の絵の「下から上」の流れです。

人材が力を発揮することは、企業にとって重要であることは勿論、その人の人生にも大きな意味を持ちます。ポテンシャルあるリーダーの軸を磨き、社会への貢献を促し、実践智へと昇華させ、行動を支援することで、社会実装に繋げ、価値ある成果を生み出し続ける。これこそがICMGグループの価値です。私たちは、これからも人の価値を信じ、「人的資本からの価値創造」を支援していきます。

新知的資本経営モデル

Purpose 社会共通善

社会課題解決

社会価値の創出

Climate Change

Robotics & DX

Well-being Society

Human Capital Creation

Co-Creation / Investment for Society

果実 非財務資本/財務資本

幹 価値創造プロセス

根 知的資本

組織資本

人的資本

関係資本

人的資本からの価値創造

社会課題解決の共創

02

社会課題解決の共創

社会の要請(=経営者の使命)に応えることを会社横断で構想・実践する

個社に閉じた企業の価値創造や持続成長には限界があります。私たちは様々な方と対話をする中で、個社の企業ビジョンを超えた、社会パーパスが重要であり、そのパーパスを再定義する必要があると感じました。

当社では、以下の5つをパーパスアジェンダとして定義しました。

- Climate Change: 脱炭素社会に向けた行動イノベーション
- Robotics & DX: ロボティクスと人の協働社会の実現
- Well-being Society: 新たな社会エコシステムの構築
- Human Capital Creation: 人的資本からの価値創造
- Co-Creation / Investment for Society: 次世代を担う共創プロジェクト推進と、投資を伴う成長支援

これまでの、「人的資本からの価値創造」という下から上の流れに加えて、社会課題や使命という観点で何ができるかという「上から下」の流れで企業を捉えることもまた、とても重要なことです。私たちは、5つのパーパスアジェンダを実践する会社として、自ら事業を展開することで「社会課題解決の共創」を支援し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

5

強い意志が共鳴しあい、
叡智を超えた豊かな森をつくりだす

Climate Change

脱炭素社会に向けた行動イノベーション

地球温暖化1.5°Cの上昇を食い止める。これから排出されるCO₂のみならず、今まで排出してきたCO₂にも立ち向かう。現在、DAC事業の立ち上げを検討中。

※ DAC=Direct Air Capture：大気中から直接CO₂を分離回収する技術。

Human Capital Creation

人的資本からの価値創造

人類史上において大きな転換期(World Transition)の今、一つの企業にとらわれず、地球規模で社会にとって価値あるものを創り出す真のリーダーを輩出する。

Robotics & DX

ロボティクスと人の協働社会の実現

人が生き活きと働くことのできる場を実現するため、Future Lab HANEDAを開設。ロボティクスと人が共存するからこそ、ロボットにも人にも最適な労働と生活環境が生み出される。

Well-being Society

新たな社会エコシステムの構築

一企業の利害を超えて社会に価値あるものを提供する。一つの木だけではなく、今までは競合であった企業とも今後はパートナーシップを構築し、人々の生活に価値あるものを提供する。

※ Greenway Grid Globalでの取組み：世界遺産のあるフィリピン・パラワン島で、その美しい自然を守るため、グリーンエネルギーのマイクログリッドを導入。
※ TEPCOトフロンティアズでの取組み：引越れんらく帳は、人々の生活の「あったらいいな」を解決することで生活の幸せと楽しさを提供。今までは競合だった企業同士をも結び付けていくサービス。

Co-Creation / Investment for Society

次代を担う共創プロジェクト推進と、投資を伴う成長支援

次の社会を創り出す起業家への支援と大企業のCX(Corporate Transformation)を同時多発的に生み出し、両者の有機的な共創を実現させる。

Future Center

花喰い鳥は、幸せを運ぶ鳥です。私たちが構想するWillpowerの森を豊かにし、森と森のコミュニティを繋ぐICMGグループのメンバー(DIC: Director of IC)の象徴です。行動する人はしなやかに境界線を越え、新しい果実を实らせ、社会に価値を還元します。



価値提供領域

ICMGの提供するサービス

私たちの仕事は、
生きた作品として人々の生活や仕事に
活かされているだろうか？

私たちの取り組みは、
広く社内外ステークホルダーに
共感してもらえるだろうか？

私たちの会社は、
自社の収益を超えて、
社会価値を生み出せるだろうか？

私たちは、組織を越えて、
自由闊達に意見を交わし、
新しい価値を生み出せるだろうか？

私たちは、圧倒的当事者意識と
強い意志力(Willpower)、智(Wisdom)を
兼ね備えた次世代を担う事業家/経営者
を輩出できているだろうか？

私たちは、未来に向けて、
社会にとっての価値の源泉(本質的な価値)
を可視化できているだろうか？



社会価値共創プロジェクト

- 社会課題解決に向けた共創プロジェクト・社会実装
- ・「Climate Change」「Robotics & DX」「Well-being Society」
- ・TEPCO i-フロンティアズ、Greenway Grid Global、
羽田共創プロジェクト
- ・共創ファンド



価値創造ストーリー・非財務KPI策定プロジェクト

- 企業のパーパス実現に向けた道のりの描き出しと発信



新知的資本経営コンサルティングプロジェクト

- 価値創造の源泉×共創で持続成長を実現する経営・事業基盤の構築
- ・企業変革
- ・事業変革：事業創造、イノベーション
- ・組織変革
- ・人的資本変革



Future Center プログラム

- Future Center活動による、企業・組織・地域を越えた将来価値の創造
- ・Future Center Academy
- ・Global Leader Training



智と軸のリーダーシッププログラム

- 次世代をリードする人材の圧倒的な当事者意識と実践智の強化



知的資本評価プログラム(IC Rating®)

- 価値創造の源泉となる知的資本の可視化



人的資本評価プログラム(HC Rating)

- 価値創造の核となる人的資本の可視化

アウトカム

木を取り巻く森を繁栄させる



アウトプット

木の果実を实らせる



価値創造プロセス

木の幹を育む



インプット

木の根を診る・伸ばす



Co-Creation

Willpowerを重ねあい、
社会変容のうねりを起こす



地球規模で見た時、社会にある未解決課題は、一つの企業で挑むにはあまりにも高い壁となっている場合もある。一人で挑むのではなく、仲間と挑んでいく。単独企業では解決できない課題も仲間と手を取りあい向きあえば、解決を加速させることができるかもしれない。

社会全体のエコシステムを見つめ、地球にとって良いこと、我々の生活にとって良いことを実現していくには、世の中にとって本当に価値あることに偽りなく真っすぐ向きあうことから始まる。

あったらいいね、ではなく、社会に実装していく。構想を実現させていくためのブレークスルーは、様々な思いが重なりあい、同じベクトルに向かって力強く行動する共創活動にあり、Willpowerの集結が大きくなうねりを起こしていく。一步の歩みを確かなものにデザインする。



Future Center

意志ある人が集い、
未来を共創する



Willpowerを持つ人であっても、時として羽を休めなくなる時もある。一人では進む道に迷い混迷する時もある。更には、日常に忙殺され本質を見失うこともある。

Future Centerは、社会変革を起こそうとする人々が自由に集い、出会い、有機的な関係を創ることができる場、困った時には相談できる人が傍にいて、休めた羽をまた大きく羽ばたかせ飛び立つことのできる場でありたい。

ビジネスの中心は人。人を創るのもまた人。人に寄り添い、コミュニティに寄り添う。悩んだ時、困った時は我々ICMGグループをいつでも頼ってほしいという思いから、オープンな価値共創の場を提供する。自身が行動すれば、社会が変わる。自らを磨き続け、面白いと思うことに行動を起こすエネルギーを溜める関係性を発展的に創造する。



People

智と軸・思いを持った
リーダーを輩出する



社会の変革者としてのリーダーシップを呼び覚ましていく。目に見えないものへの決断力、判断力、洞察力を養い、情熱を持つ。自分自身の物語を歩むことで、未来を創る当事者として覚醒していく。

個々のWillにど真ん中で向きあうからこそ、自分・社会・会社への違和感、足る・足らずに気づき生まれる。その気づきから、洞察、共有・共感を通じ、覚悟を持ってビジネスを練り上げる人材を輩出する。

伴走すべきは組織や企業だけでなく、まずはその源を創っている人材。自身のWillに気づき、WillとWillが出会い重なる時、Willはより大きく飛躍する。高いエネルギーレベルで繋がり合うからこそ企業内外の枠にとらわれることなく、社会をより良い方向へと導く原動力となり、真に社会変容のうねりを起こす存在となる。

予定調和のない世界に言い訳をすることなく自ら道を創っていく人を創る。





▶▶ TEPCO i-フロンティアズ

コンサルティングプロジェクトでは新しい事業は生まれない。本気で世の中に新しいサービスをリリースしようとした時、東京電力エナジーパートナーとICMGは生活者に「もっと楽しい」を提供することを主目的とした合弁会社を設立することに合意した。

ICMGグループが20年に亘って培ってきた新進気鋭のベンチャーコミュニティと、東京電力のプラットフォームを掛けあわせ、生活者に価値を還元するエコシステムを創り出す。

私たちの暮らしをより良くするアイデアや商材を持っているパートナーと共に新しい事業を創っていききたい。時代の先端をいくFinTechやHealthTechをはじめ、これからも価値共創の歩みは止まらない。

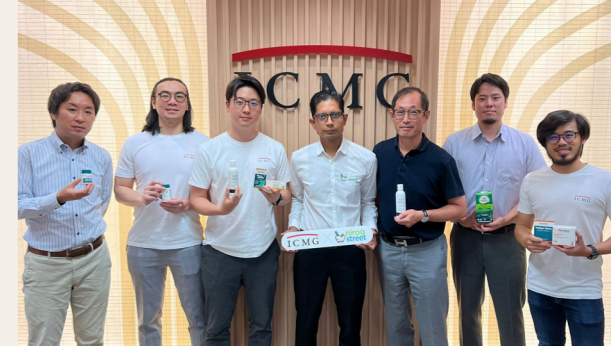
木の枝葉まで脈打ち、 生態系の繁栄を加速させる



▶▶ Greenway Grid Global/ Clean Grid Partners

事業の躍動は人と人の純粋な交わりから生まれる。Greenway Grid Globalは3名の次代を担うリーダーが集まり産声を上げた。理念にある三階建構想は、①人的資本を土台としたリーダーシップ、②アジアのパートナーとの邂逅によるイノベーション創出、③実業による地域社会への貢献。

アジアにおいて自然エネルギーエコシステムを構築する志の高いソーシャルアントレプレナーとは、文化・イデオロギーを超えた深い信頼の絆で結ばれ、今後は気候変動や脱炭素も見据えたグリーントランスフォーメーションを戦略の軸として置く。今後も、地域資源を活かした共創プロジェクトを立ち上げていく。



▶▶ 共創ファンド

ICMGグループは、コンサルティング会社でベンチャーキャピタル事業までも手掛ける稀有な存在。日本の資本を海外ベンチャーへ投資することで、グローバルにおける日本の存在感を増していく。大企業ではまだ足踏みするような判断も私たちが先陣を切ることで新しい道筋をつくる。意志ある未来の最初の一步を先見性を持って弛まず創り続ける。世界には面白いベンチャーがたくさんいる。新しい産業がデファクトスタンダードになる時には既にICMGグループが入っている状態を創ることで、世界の先端を先取りする。新しい産業を創り、新しい社会を創る、そこには我々ICMGグループがいる。日本を代表するベンチャーキャピタルになることで、日本企業に新しい扉を開き価値を還元する。



▶▶ 羽田共創プロジェクト

「羽田空港をグローバルで通用するハブコミュニティにしたい」。一人の強いWillpowerから物語は始まった。

羽田共創プロジェクトを立ち上げ、社会課題解決に向け、実証実験・社会実装といった目に見える形の具現化を重ねていくことで、未来につながるエコシステム構築を目指す。

「スマートエアポートシティ」「カーボンニュートラル」「地方創生」などをテーマに、大企業・中小企業・スタートアップ企業、行政、自治体等と共創し、羽田エリアから世界・地域に向けて、社会変革イノベーションを創り出す。

羽田空港は、世界と日本の各地域の結節点。人が集い、新たな価値を生み出す場として昇華していく。



▶▶ 愛知県プロジェクト

愛知県らしさや愛知県でやる意味を可視化する。住んでいるからこそ当たり前で見えない愛知県の魅力を再発見していく。数字では決して表れない部分を可視化できるのは、ICMGグループが20年来非財務資本に重きを置いてきたからこそ。アクセラレーターとして、自治体と企業やベンチャーを繋ぎ、共に地域課題に向きあうことで生まれる事業を共創する。パートナーリングで終わるのではなく、果実を創るところまでを共に歩む。イノベーションからの新しい風を吹き込むことでコミュニティを外に開くデザインをする。数世代先まで続く魅力ある地域になるよう事業を通じて関わる仲間を増やしていく。

価値創造の歩み

ICMGグループの未来へと続く、過去から現在

人的資本からの価値創造と社会課題解決の共創を通じて「Willpowerの森」に至る歩み



2001年 10月 知的資本の測定・向上コンサルティングを開始
Intellectual Capital Sweden(ICAB社) 保有の知的資本可視化手法(IC Rating®) 独占ライセンス締結

2003年 4月 日立製作所と戦略的提携を行い、企業変革支援開始

2005年 5月 産業再生機構(当時)傘下の再生案件受託
10月 経済産業省「知的資産経営の開示ガイドライン」策定を支援

2007年 9月 ファンドの投資先企業への経営力調査を受託

2010年 3月 ICAB社を子会社化(100%出資)

2013年 1月 北京ICMG咨询有限公司設立(本社:中国・北京)

2015年 7月 ICMG USA設立(本社:米国・シリコンバレー)

2019年 11月 UNDP Global Centre for Technology, Innovation and Sustainable DevelopmentとのアジアにおけるSDGsイノベーションの加速に向けた戦略提携契約締結(ICMG Pte., Ltd.)

2020年 2月 本사를東京都千代田区丸の内に移転し、新本社「Future Center Tokyo」をオープン

2000

2005

2010

2015

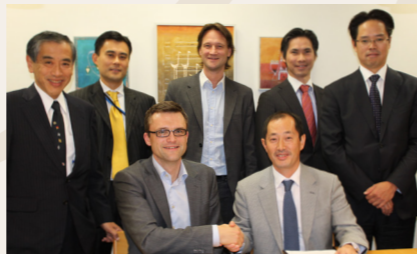
2020

2002年 2月 経済産業省「知的資本に関する調査研究」受託

2004年 9月 経済産業省「知的資産と企業価値に関する研究会」運営受託(座長)

2006年 10月 証券取引所による上場企業への経営診断サービスを受託

2009年 3月 本사를東京都千代田区内幸町に移転
11月 ICAB社よりIC Rating®ライセンスと海外パートナーネットワーク取得



2011年 6月 ICMG FINANCIAL SERVICES(現ICMG PTE.,LTD.)設立(本社:シンガポール)
10月 株式会社アクセルから株式会社ICMGへ社名変更



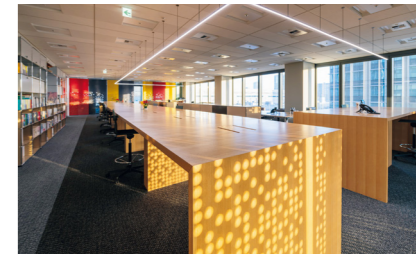
2017年 9月 東京電力エナジーパートナーとの合弁会社TEPCO i-フロンティアズ株式会社設立



2021年 5月 日本空港ビルデング、羽田未来総合研究所、きらぼし銀行と「共創ファンド」設立



2018年 7月 東京電力パワーグリッドと中部電力および当社との合弁会社Greenway Grid Global設立(本社:シンガポール)



会社情報

Stockholm

Silicon Valley

China

IWNC

ICMG

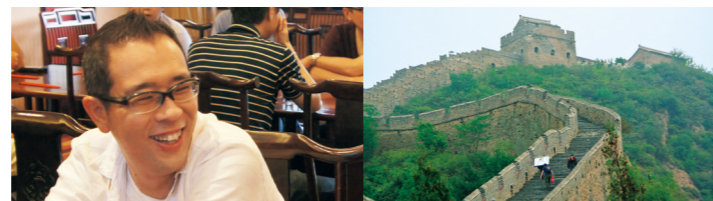
Singapore

Bangalore

Ti-F

GGG

CGP



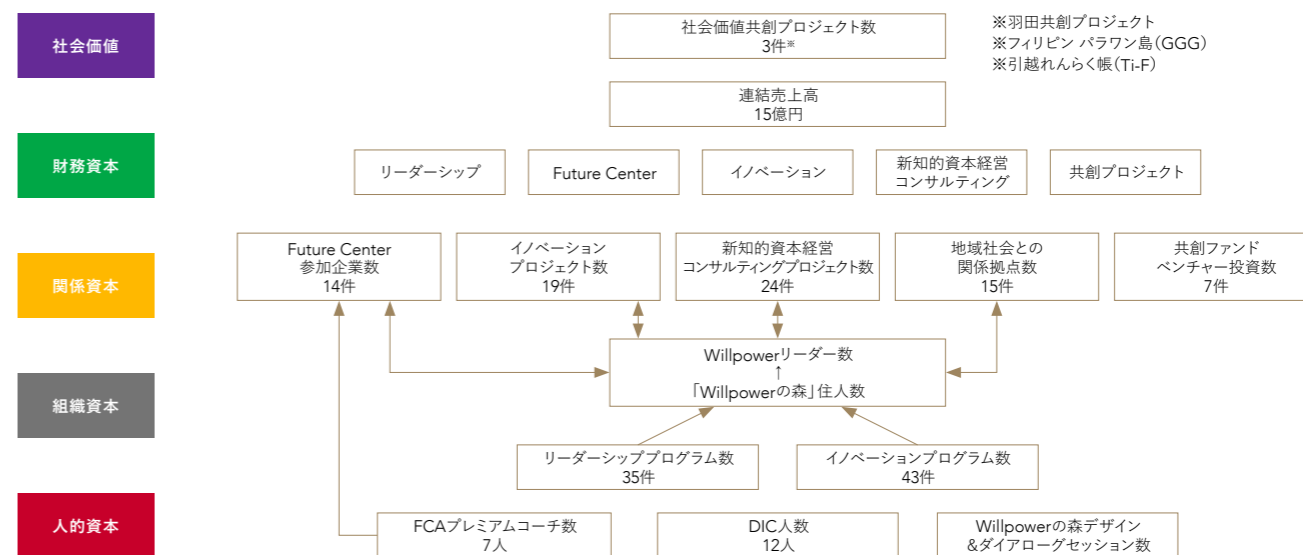
▶▶ グローバルネットワーク

● ICMG group companies ● ICMG alliance partners



▶▶ Willpowerの森 主要KPI

ICMGグループは、2022年度より、本質的な存在意義・成すべきパーパスの中核として「Willpowerの森を創る」を据えました。その実現の道のりとしてのKPIツリーを策定し、「Willpowerの森を創る」ことを実践します。2021年度まで私たちの培ってきた実績と共にKPIツリーをご紹介します。



▶▶ 会社概要

株式会社ICMG (ICMG Co., Ltd.)

設立 2000年4月
資本金 336,850,000円(資本準備金を含む)
従業員数 53名(単体) 93名(グループ連結)(2022年8月1日)
住所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル11階

会社HP
https://www.icmg.co.jp/

